

平成28年4月27日(水)

北日本新聞

人工芝グラウンドの名称決定

高平メモリアル常願寺スポーツパーク

【舟橋】

常願寺川公園スポーツクラブ(事務局・立山町五郎丸)は26日、舟橋村東青原で建設中の人工芝グラウンドの名称を「高平メモリアル常願寺スポーツパーク」にすると発表した。クラブの初代会長で、ことし3月に亡くなった高平公嗣県議にちなんでおり、7月の完成を目指している。

【webunに写真4枚】
クラブは同村海老江の舟橋



新名称と完成予想図を発表する関係者

会館で記者会見を開き、名称

と、副会長だった平木柳太郎

県議が新会長に就くと発表。

平木氏は「発足時からクラブ

を支えてきた前会長の遺志を

引き継ぎたい。グラウンドの

整備や運営面で、しっかりと

した体制を整える」と述べた。

新規事業として、女子サツ

カーチーム「なでしこ」を立

ち上げるほか、11月に台北や

上海の子どもたちと交流試合

を行うとした。

グラウンドは総工費1億5

800万円。造成を行う第1

期工事は3月に完了し、今後は人工芝やフェンスなどを整備する第2期に入る。早ければ7月中にも使えるようになる。

クラブは、第2期工事に充てる支援金やクラブ員を募っている。問い合わせはクラブ、電話076(464)1820。

平成28年4月27日(水)

富山新聞

富

名称は高平メモリアル

7〜8月オープン

総合型地域スポーツクラブ「常願寺川公園スポーツクラブ」は26日、舟橋村東青原に建設中の人工芝グラ

ウンドの名称を「高平メモリアル 常願寺スポーツパーク」にすると発表した。3月に志半ばで急逝した高平公嗣前会長の遺志を引き継ぐ意味を込めた。

平木柳太郎新会

長を含む役員ら6

人が舟橋村舟橋会

館で会見した。高

平氏は2004年

の発足時から会長

としてクラブを支

えた。平木会長は

「後世に評価される施設にしたいと



会見で人工芝グラウンドの完成予想図を持つ平木会長や金森勝雄村長

|| 舟橋村舟橋会館

地域社会 2016年(平成28年)4月27日(水曜日)

の高平前会長の思いを引き継ぎ、運営を含めて恥ずかしくない施設にしたい」と述べた。

施設は約1万5千平方メートルの敷地に日本サッカー協会公認のフルコート1面を整備する。陸上競技など多目的で使うエリアも設ける。7月下旬〜8月上旬のオー

プンを予定する。

11月には台湾の子どもとの交流試合も企画し、村民の交流や防災拠点としての機能を目標として舟橋村とも連携する。クラブは建設費に充てる支援金を募っている。問い合わせは同クラブ || 076(464)1820 || まで。